

# ひなまつり郷愁 雛の寺 専徳寺を訪ねて

～人吉球磨は、ひなまつり・相良路の春～



桃の節句。

あでやかな雛人形に込めた  
女の子の健やかな成長を願う心は、  
今も昔も変わりなく、代々受け継がれている。



ひなまつりの起源は、遠く平安の時代  
紙の着せ替え人形遊び「ひいな遊び」と  
身のけがれを紙人形「ひとがた」に託して  
川へ流した「ひいな流し」が結びつくと  
云われる。

豪華な雛人形を飾るようになったのは  
江戸時代、宮中から武家、商家から大衆へと  
広がり、さらに地域の特性を取り入れながら  
様々な雛人形がつくられていった。



200年前、江戸後期のひな人形

早春の誘いに「ひなまつり」を催す地域が  
多くなり、日本の伝統行事の素晴らしさに  
あらためて感動された方も多だろう。  
県内でいち早く「ひなまつり」をはじめたのが  
人吉球磨。

そのきっかけとなったのは、あるお寺に展示された  
豪華絢爛！千体以上に及ぶ雛人形だった。



住職 安部弘昭さん

そこは「雛の寺」として有名な相良村・専徳寺。  
39年前、住職が娘さんの成長を願ってそろえた  
雛人形から「人吉球磨は、ひなまつり」が生まれ  
今や相良路に春の訪れを告げるようになった…。

## 圧巻！艶やか！ 1200体のひな人形に込められた住職の39年の思い 雛の寺・専徳寺

県内いろんな地域で「ひなまつり」が催されているが、中でも観光キャンペーン『人吉球磨は、ひなまつり』は8年前にスタート、今や春の人吉球磨地方を代表するイベントとして定着し県内外から多くの観光客を集めている。ひな人形の展示やひなまつりにまつわる催事は年々広がり、今年は人吉市内の商店街を始め、相良村、錦町などまさに人吉球磨一帯、様々な趣向でひなまつりを楽しむことができる。今年の『人吉球磨は、ひなまつり』は3月31日までの開催、(専徳寺は5月中旬まで展示) KUMAKENで興味を持った方は、ぜひ足を運んでみられてはいかがだろう。

今回はKUMAKENが選んだ見どころを紹介しよう。

早春の相良路、その日はポカポカと春の訪れがそこまで来ているかのような陽気の中、ゆったりとした時間が流れているような一日だった。何はともあれ、『人吉球磨は、ひなまつり』を生んだ専徳寺を訪ねなければこのイベントは語れない、そんな思いが募る。

「雛の寺」として名高い専徳寺は、毎年、全国やローカルのTV・雑誌等で紹介される、いわば『人吉球磨は、ひなまつり』のシンボル。このイベントが始まったのも専徳寺のひな人形コレクションがきっかけとなり、今では年間2万人の人が拝観に訪れる。専徳寺は明治のはじめに建立された浄土真宗のお寺、立派な本堂が建っている。ひな人形を展示してあるのは隣の旧本堂と自宅、一步足を踏み入るとそこにコレクションという枠を超えた絢爛豪華な雛の世界が広がっていた。

圧巻！まずは所狭しと並べられた1200体を超えるひな人形の数に思わず息をのむ。まるで時代絵巻の中に迷い込んだようだ。しばし、その雰囲気圧倒され、立ちすくんでしまった。艶やかで気品漂う古今ひな、素朴で愛らしい土びな、押し絵びな、可愛いミニチュアサイズのおひな様もある。その表



本堂



旧本堂



情も様々で、崇高さが漂うものや素朴でそれでいてキリッとしたものの、現代的な顔のおひな様もいる。ひな人形の歴史や作り手の人形への思いが伝わってくるようだ。

ゆっくりと、静かに時代絵巻の空間を漂う。それが一番いい。ひな人形には一切解説がないので、かえって観る人に豊かな時間と空間を与えてくれる。

旧本堂から自宅へ、隙間なく埋め尽くされた全国各地のひな人形、その他にも羽子板人形や全国各地の民芸風な人形なども飾られ、時間を忘れて見入ってしまう。それにしても、この数、この種類はすごい！ゆっくりと拝観した後、ひな人形を集められた住職に話をうかがった。



安部弘昭（あべ こうしょう 64歳）住職の人なっつこい声が招く。その気さくな人柄こそ専徳寺を訪れる人にとって、最高のもてなしではないだろうか。そんな気がする住職である。



**取材班** Q：圧倒されました！1200体以上あるのでは？

**安部住職** A：ありがとうございます。

1200体は超すと思いますが、正直言って、数えたことがないので何体あるか、わかりません！（笑）

**取材班** Q：ひな人形を集められたきっかけは？

**安部住職** A：女の子を持つ親御さんと一緒ですよ。

39年前に長女が生まれてからです。

仕事で全国いろんな所に出張で出かけた時、ひな人形や各地の人形を買い集めるようになったんです。

娘が二人いるので、ひな人形を買い続けているうちにこんなに集まってしまったんです。

娘が大きくなると、娘より自分のために集めるようになったんですけど…。（笑）

**取材班** Q：どんな風を集めるのですか？

**安部住職** A：時間を見つけて骨董屋さんなどを回るんです。



バブル前の経済成長期は古いひな人形が出回っていて、それほど高くありませでした。バブル期の頃、骨董屋さんで売っていたのは鎧兜。私はひな人形を買っていました。

取材班 Q：一番古いひな人形、珍しいひな人形は？

安部住職 A：200年前、江戸後期のひな人形です。  
珍しいひな人形としては、卵や落花生でつくった変わりびなもありますよ。



卵のひな人形

取材班 Q：なぜ、展示をするようになったのですか？

安部住職 A：20年前から、檀家や知人・友人には見せていたんです。

展示ではなく、人形を見ながらお茶を飲む隠れ家的な感じだったんです。

それがマスコミに取り上げられ、全国放送のテレビ番組でも紹介（福留アナウンサーが来た…多分ズームイン朝）され、いろんな方々が来るようになったんです。そして、行政の方が「ひなまつり」を人吉球磨のキャンペーンにどうかということで協力することになったんです。

私もこんな風になるとは思ってもみませんでした。



落花生のひな人形

取材班 Q：年間2万人の方が拝観されるとか？

安部住職 A：嬉しいですね。何よりも人形を通しての出会い、これが嬉しいんです。全国から来て頂けるし、いろんな方と人形についての話ができて、集めていてよかった、展示してよかったと思うんです。人形が出会いをつくってくれています。

取材班 Q：準備が大変なのは？

安部住職 A：12月の半ばから準備をしますので、約一カ月半かかります。

準備していると思うのですが、日本家屋は便利にできてますよ。

戸や襖を開けると広くなり、またどの部屋からでも目



的の部屋に行くことができますからね。

展示は手造りですよ。ビールのケースや段ボールを組み合わせて布をかぶせて並べ  
んです。

なるほど、人形のひな段は手造り。ここにも住職のアイデアが生きている。

大変な作業だが、住職にとっては拝観者の喜ぶ顔見たさで苦にならないのかもしれない。こうして、  
笑顔で答えてくれる間も、拝観者の方たちが住職に気軽に声をかけてくる。「この人形はいいですね。」  
住職はまた笑顔になる。人形の解説だけでなく「可愛いから買いました。」と買った時の思い出がよみが  
えってくる。住職の眼鏡にかなった全国の人形が今、遠路はるばるこうして相良の寺で大切にされてい  
るのが不思議な気さえする。住職に見つけられた人形は幸運だった…。

取材班 Q：住職は他にもいろんなモノを集められたり、つくられたりしていますが…。

安部住職 A：私は「お金をかけないでいかに楽しむか」を考えています。手づくりの良さ、心づか  
い、それが大切だと思うのです。いろんな物を使って、工夫してつくることの楽しさ、  
それが「遊び心」だと思います。

天井裏にはまだいろんなコレクションがあります。

季節が変わると、それを出してまた並べようかと思っています。

世間話をしにまた誰かが来るでしょうから…。

安部住職の話に癒される。ひな人形も豪華で美しいが、住職の陽気で何気ないもてなしの心が専徳寺  
の魅力である。住職の言う「遊び心」は現代人が忘れかけたモノを大切に作る心から始まるのだろう。  
その証拠に専徳寺のひな人形は、どれも綺麗な姿を保っている。



専徳寺本堂の前では相良村の物産販売も

専徳寺 球磨郡相良村柳瀬769 電話 0966-23-2405

拝観料：300円（大人のみ） 団体割引（20名以上）一人250円

展示期間：人吉球磨はひなまつりの期間は3月末までですが、今回は5月中旬まで展示される予定。  
4月1日以降の拝観については電話受付をお願いします。

開館時間：9：00～18：00 駐車場：バス5台 車50台

## ひなまつり散策 九州の小京都はひなまつり一色！

人吉市の中心、九日町と五日町は「おひな通り」と名付けられ、各店舗にひな人形を展示している。お店の方の思い出の人形、ユニークな人形、それぞれに違った趣きの人形がショーウィンドーや店先を飾っている。歩くだけで、どことなく幸せな気分になる。

城下町人吉の面影を残す鍛冶屋町通りに入ると、みそ・しょうゆ蔵、茶の蔵、刃物店など懐かしい風情ある店が並んでおり、店の前には地元の子供たちが作ったひな人形が飾られている。

### ●みそ・しょうゆ蔵でウンスンカルタ

鍛冶屋町の「みそ・しょうゆ蔵」を訪ねると、地元の子供たちが何やら珍しいカルタに興じていた。ポルトガルから16世紀に伝わった南蛮カルタが日本人によって改良され、人吉に残った「ウンスンカルタ」である。

現在、鍛冶屋町で伝承されており、騎士や七福神、唐人などの絵札や数札が5種類、ウン（一）からスン（最高）まで計75枚のカルタで遊ぶもの。

不思議な絵柄のカルタ遊びに挑戦してみたいかたでしょう。

#### 『おひなウンスンかるた大会』

日時：2月～3月の土日 午後1時～

場所：人吉市鍛冶屋町通り

みそ・しょうゆ蔵（釜田醸造所）茶の蔵

問合わせ：立山商店 0966-22-2566

### ●人吉球磨の歴史文化を発信する新しい拠点「神城文化の森 福助館」

錦町の高台にそびえる城がシンボルの神城文化の森。この地域はその昔神城とよばれ、人吉城を守る要塞として外城が設けられていたといわれ、そこに復元されたのが神城



人吉名物。人力車とすれちがう



鍛冶屋通り



店の前に手づくりのひな人形が…



ウンスンカルタ大会

文化の森・福助館である。豪華なひな人形、歴史的な価値の高い人形などが展示されている他、古美術品、焼物、招き猫などが展示された様々な展示施設がある。

場所：球磨郡錦町大字西

入場料：高校生以上500円 中学生以下200円 3歳未満無料

開館時間：9：00～18：00（年中無休）

問い合わせ：0966-38-0215



神城文化の森、福助館

●人吉クラフトパーク石野公園ではひな人形展示とひな人形づくり体験が！

「人吉球磨は、ひなまつり」はこの他、「土びなと全国の郷土玩具展」やオリジナルのひな人形制作ができる人吉クラフトパーク石野公園もおすすめ。さらに、この期間、ひなまつり展示場のスタンプを集めて賞品がもらえる「ひなまつりスタンプラリー」などが開催されている。

人吉クラフトパーク石野公園 0966-22-6700



人吉クラフトパーク石野公園

■人吉球磨は、ひなまつり」に関するお問い合わせ

人吉市観光振興課内

ひとよし・くま旬夏秋冬キャンペーン実行委員会事務局

0966-2111

